

滋賀県農業共済組合 (NOSAI 滋賀)

1 滋賀県の紹介

滋賀県は近畿の北東部にあり、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接しています。まわりを伊吹、鈴鹿、比叡、比良などの山々に囲まれ中央に県の面積(4,017km²)の約6分の1を占める日本で一番大きな湖「琵琶湖」(周辺の長さは約235km)があります。まわりの山々から湖に流れこむ川の数は大中小約460本。一方、湖から流れ出る川は瀬田川(宇治川、淀川となって大阪湾に注ぐ。)と京都市につながる琵琶湖疎水(人口)の2本のみです。

気候は、内陸性気候ですが、琵琶湖があるため他の盆地と比較すると、夏の暑さと冬の寒さは幾分穏やかである特徴があります。



2 滋賀県の農業

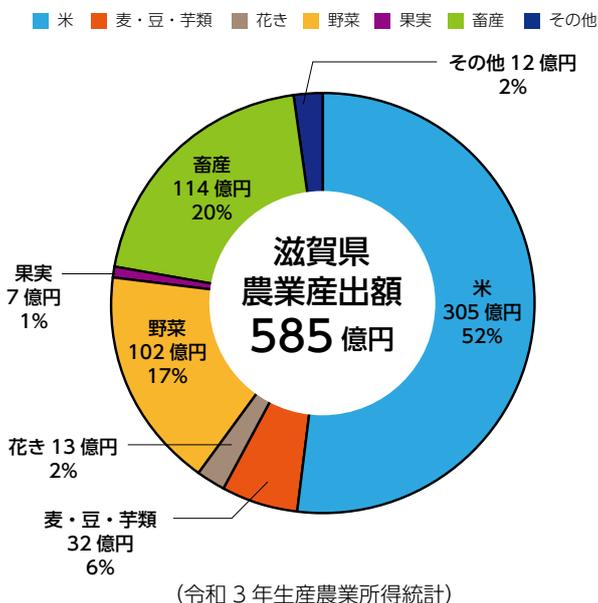
本県の耕地面積は50,500haで水田率が93%と高く、水稲・麦・大豆の土地利用型農業が特徴です。県独自認定の環境こだわり

り米など琵琶湖の環境に配慮した栽培に早くから取り組んでおり、六条大麦と大豆は全国4位、小豆は3位の生産量があります。畜産については三大和牛の一つとされる近江牛というブランドをもち、肉牛農家では大規模化が進み一戸当たりの飼養頭数は244頭で全国トップレベルとなっています。

「集落営農」に取り組む農村集落が多いのも特徴の一つで「集落営農法人」は361を数え、全国で3番目の多さです。

令和4年10月には全国に先駆けて「滋賀県みどりの食料システム基本計画」を策定し、「環境こだわり農業」の生産拡大に加え、有機農業の面積拡大、スマート農業等の新技術の活用、飲食店や事業所食堂等の活用を通じた消費拡大等を図る取組みを進めています。

本県の農業産出額の品目別構成



3 滋賀県農業共済組合（NOSAI 滋賀）の概要

NOSAI 滋賀は、平成 25 年 4 月に県内 7 組合が合併し、同 5 月に連合会も含め特定組合として発足しました。

合併当初は本所、7 支所、2 診療所でしたが、組織体制の見直しを行い現在は、下図の体制で事業運営を行っています。

■ 本所所在地

滋賀県大津市梅林一丁目 14 番 17 号

■ 電話番号 077-524-4688

■ 組織体制

役員 15 人（理事 12 人、監事 3 人）

職員 129 人（臨時等を含む）

■ 基礎組織

総代 90 人

損害評価会委員 204 人

（本所委員 54 人、支所委員 150 人）

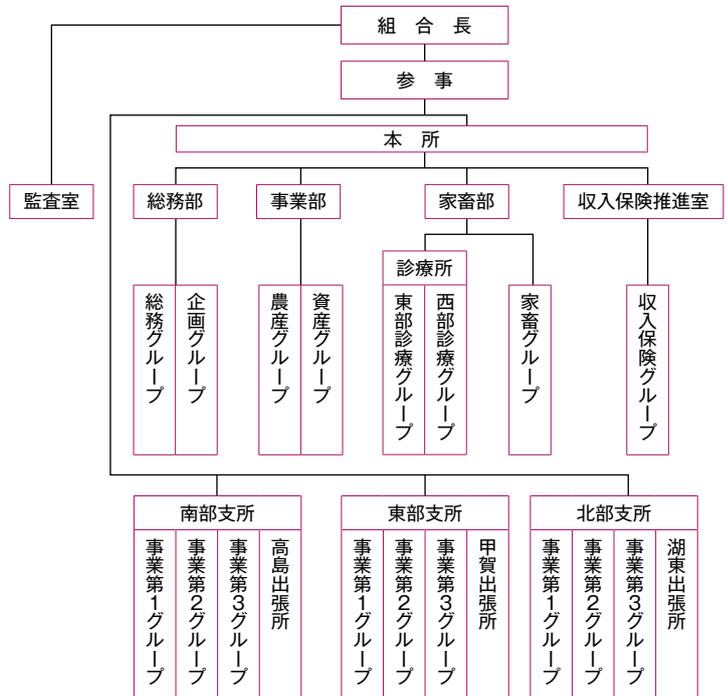
損害評価員 173 人

NOSAI 部長 1,673 人

■ 組合員数 18,292 人

令和5年3月末現在

【機構図】



4 滋賀県農業共済組合（NOSAI 滋賀）の活動

近年は大雨や台風、地震、思わぬ豪雪など大規模の自然災害が毎年のように発生し、多様なリスクが農業経営を脅かしています。このような状況下で、NOSAI の力を発揮し、地域農業を守り、組合員が安心して農業に取り組むことができるよう、全力で農業保険事業の円滑な運営に努めています。滋賀県農業共済組合としてスタートしてから、早くも 10 年が経過しました。「安心をすべての農家に届けよう」を目標に、農業生産体制の構築に向けて、農家一人一人の理解を得ながら、収入保険と農業共済を総合的（セット）に推進・展開し、農業経営のセーフティーネットを着実に広げていくことが組合の使命です。

そのために、組合員の皆さまに制度の内容についてわかりやすく丁寧に説明をして、これまで築いてきた信頼関係をより強固なものとし、より良い農家サービスを提供できるように取り組んでいきます。

NOSAI 滋賀
マスコットキャラクター
「NOSAI ノンちゃん」

